

教育委員会の事務の管理及び執行状況の  
点検・評価報告書  
(平成27年度分)

平成28年12月

豊前市教育委員会

## 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価

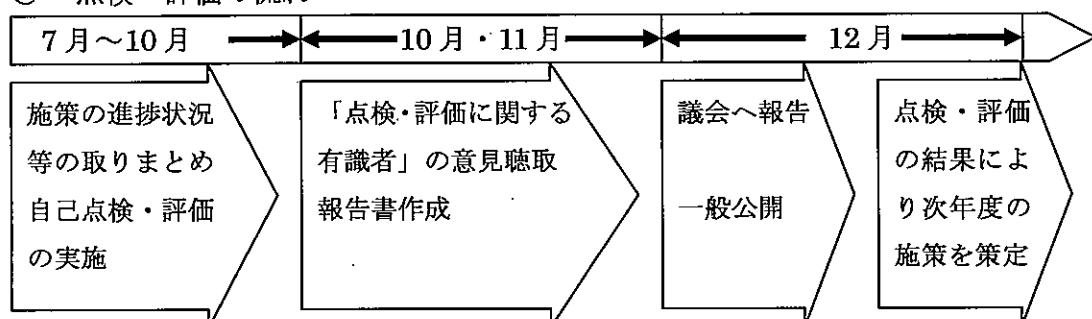
- 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき実施するものです。

### （参考）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関係条文抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。  
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

- 点検・評価は、前年度の事業を対象とします。
- 上記に関連する事業は、事務事業一覧表のとおりです。
- 点検・評価は、事業それぞれについて所管係が点検・評価シートを作成し、目的、内容、達成状況、事業の課題について検討した結果を総合的に判断し、A（期待以上）、B（期待どおり）、C（やや下回る）、D（期待以下）にわけて自己評価を行いました。
- 点検・評価については、教育に関し学識経験を有する第三者に外部評価をしていただきました。
- 点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を豊前市議会（文教厚生委員会）に報告するとともに一般に公開します。
- 点検・評価の結果により、評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業は課題の解決や、見直しを検討していきます。
- 点検・評価の流れ



豊前市教育委員会点検・評価事務事業一覧

大区分	小区分	事務事業	ページ
就学前教育	1 楽しく充実した幼児教育	1 小・中・高校、幼稚園及び保育所の連携 1 小規模校の教育活動の充実 2 学校施設の機能更新 3 特別支援教育総合推進事業の取組 4 学力向上に向けた取組 5 放課後支援事業(ぶぜん学び道場寺子屋) 6 心の問題への対応 7 指導体制(環境面)の充実 8 効率化・安全性を考慮した学校給食	1 2 3 4 5 6 7 8 9
学校教育	2 楽しく充実した学校		
	3 社会教育推進体制	1 社会教育主事の活用と育成	10
	4 青少年教育	1 体験学習の推進 2 学社融合の推進 3 地域との連携	11 12 13
社会教育	5 社会人への支援	1 学習機会の提供 2 地域の課題解決に向けた人材育成 3 各種団体への支援	14 15 16
	6 公民館運営	1 地域情報発信事業 2 施設の機能強化	17 18
スポーツ・レクリエーション	7 地域スポーツの振興 8 レクリエーションスポーツの普及 9 施設の整備	1 地域総合型スポーツクラブ事業 1 指導者の育成 1 体育施設の整備	19 20 21
生涯学習	10 生涯学習体制 11 情報の一元化 12 出前講座	1 豊前市生涯学習推進計画 1 生涯学習プログラムの構築 1 市役所職員による出前講座の実践 2 ボランティアの派遣	22 23 24 25
文化財の保護と活用	13 文化財の整備と活用 14 文化財の公開 15 無形民俗文化財の伝承 16 人材の育成	1 国史跡「求菩提山」の整備 1 教育普及活動の推進、施設の整備活用 2 各種情報の発信 1 関係団体の組織化、伝承事業の展開 1 ガイドボランティアの支援	26 27 28 29 30
芸術文化の振興	17 芸術活動 18 読書活動	1 複合施設の活用、文化事業の実施、場の提供 1 市立図書館の充実 2 学校図書館との連携	31 32 33

## 就学前教育

### 1 楽しく充実した幼児教育

早期からの情報提供や相談会の実施などによる柔軟できめ細かな対応ができる一貫した支援体制を整え、保護者の意見を尊重した就学先を決定する。

#### 【点検・評価シート 就学前教育】

小区分	小区分	1	事務事業	1	
小区分	楽しく充実した幼児教育				
事業名	小・中・高校、幼稚園及び保育所の連携		担当係	学校教育係	
事業の目的	適正な進路の決定				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士による知能検査や複数体制での就学（教育）相談を行い、幼児の様子について保護者の意見・意向の聞き取りをする。これをもとに必要に応じて教育支援委員会で審議し、保護者・本人の意見を尊重しながら進路を決定する。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学（教育）相談件数延べ66件（前年34件）。教育支援委員会での判定件数16件（前年17件）。</li> <li>・幼稚園、保育園、福祉施設と連携し、就学に不安を持つ保護者や、「困り感」をもつ幼児の保護者に働きかけを行い、就学（教育）相談を促すことにより、不安を軽減するとともに就学に向けての準備や心構えを示唆する。</li> <li>・専門家（臨床心理士や作業療法士）による助言をもとに、相談者の障がいの程度や教育的ニーズに応じた就学先決定を支援する。</li> </ul>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園への巡回相談を保健師・作業療法士・早期支援コーディネーターとともに年2回（1回目：年長、2回目：年少・年中）実施することで、園との連携が図れ、より広く深い情報を収集することができた。</li> <li>・専門家の的確なアドバイスにより、保育士等の支援が変わったことで幼児の変容する姿が見られるようになった。</li> <li>・就学先の学校への情報提供が早期に可能となり、入学前からの準備ができ、入学後の迅速かつ適切な対応につなげることができた。</li> <li>・特別支援教育の取組みが、幼稚園・保育園ごとに差があり、支援を要する幼児の情報共有や就学時を見据えた連携が不十分な場合がある。</li> <li>・広く保護者の気づきの促進、意識改革を図っていくことが必要である。</li> </ul>				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横の連携と縦の連携の強化を図る。</li> <li>・教育支援委員会の更なる支援体制の充実を図る。</li> <li>・子どもを中心に据えた上で、園訪問で共有した情報をもとに、保護者への気づきを促したり意識啓発できるよう園との連携をさらに強化する。</li> </ul>
-------	---

## 学校教育

### 2 楽しく充実した学校

教育内容及び教育環境を充実させることは、学校教育を充実する上で最も重要な施策であり、小規模の教育活動、学校施設の機能更新、特別支援教育など、楽しく充実した学校づくりに向けて様々な取組を行っている。

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	1
小区分	楽しく充実した学校		
事業名	小規模校の教育活動の充実	担当係	学校教育係
事業の目的	小規模特認校制度を継続し、児童・生徒数の少ない学校でのきめ細やかで特色ある教育に取り組み、児童・生徒数の増加を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加配教員の配置等により小規模校の活性化を図る。</li> <li>・P R の実施。小・中との合同行事や、地域住民の参加行事を増やし地域との繋がりを深める。</li> </ul>		
平成 27 年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間での児童数による格差（複式学級等）を解消するため、小規模校へ市費負担非常勤講師を配置した。</li> <li>・大村小学校、合岩小学校の児童数の減少が著しいため、平成 21 年度に通学区域審議会を開催し、2 校を小規模特認校とし、平成 22 年度から募集を開始した。平成 23 年度に合岩中学校を追加した。各学校の特色を生かした教育を展開し、児童・生徒数の増加を図った。</li> <li>・平成 26 年度より新たに豊前市市費負担常勤講師を任用できる制度を設け、小規模校の複式学級解消に努めた。</li> <li>・今年度も 5 月に合岩小・中学校の合同運動会を開催し、小・中学校の枠を超えた縦割りの共同教育活動を実施できた。</li> <li>・特色ある教育の推進として、合岩小・中学校連携での英語教育の向上、コミュニケーション能力の育成を図った。</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒数の減少による学校間の格差や保護者の不安感がある。</li> <li>・市費負担非常勤講師の人材確保が困難である。</li> <li>・中学校の小規模校では、部活動が充実していない、人間関係が固定するなどを心配する声が聞かれる。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数の減少に伴い、小規模校の複式学級化及び少人数化が懸念されるため市費負担非常勤及び常勤講師任用の充実を図り、複式学級の解消に努める。</li> <li>・特色ある教育活動を更に推進するほか、広報等により小規模校の紹介、募集を実施し、児童・生徒の増加を図る。</li> </ul>
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	2		
小区分	楽しく充実した学校				
事業名	学校施設の機能更新	担当係	教育総務係		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校施設の修理・修繕を行う。</li> <li>・建物の非構造部材（設備や天井仕上げ材等）の耐震化を図る。</li> <li>・屋上防水や外壁劣化、トイレ等の長寿命化大規模改修を行う。</li> </ul>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和50年代建設校舎が一斉に老朽化しているため、修理・修繕を行う。</li> <li>・文部科学省が緊急で進めている建物の非構造部材（照明器具等の設備機器・天井材）の耐震化を中心に改修を進める。</li> <li>・現在のニーズに沿わないトイレの間取りや設備器具の取り替えを行い、児童・生徒の学校生活環境を改善する。</li> </ul>				
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非構造部材の耐震化として、角田小・三毛門小・角田中・千束中体育館の吊り天井撤去工事を行った。角田中は同時に体育館屋上の防水工事も実施した。吊り天井の体育館は残り4校あるが、これらについても、年度末に撤去工事の契約を行い、繰越事業として28年度に工事を完了する予定である。</li> </ul>				
成果・課題	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館吊り天井の撤去工事により、全国各地で発生している震災の際の吊り天井落下による被害の不安は解消された。また、長年不便を掛けてきた角田中の体育館の雨漏りも解消された。残りの吊り天井の体育館についても、28年度の撤去工事が決まっており、安全が確保される。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化に伴う修理・修繕費は、年々増加している。緊急を伴う修繕が突然的に発生することもあり、予算の確保に苦慮する。</li> <li>・学校施設は洋式トイレが少なく老朽化しているため、利用に抵抗感のある児童・生徒が多くなっている。洋式トイレ化、清潔で使いやすいトイレへの改修は喫緊の課題になってきている。</li> <li>・照明設備が学校建設当初からのものであるため、器具の劣化や消費電力が大きい。今後は高効率型のLED照明に移行していく必要がある。</li> <li>・長期の工事期間を要する大規模改修は、学校教育活動に少なからず制限を強いることになる。体育館等の改修の場合は部活動の代替場所の確保はもとより、移動手段等を含めた対応が必要になる。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度、文部科学省が進めている体育館の非構造部材耐震化の改修工事に着手した。来年度にかけて実施していく。</li> <li>・再来年度以降は、文部科学省の新たな指針に対応していく予定である。</li> </ul>
-------	--

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	2	事務事業	3
施 策 名	楽しく充実した学校				
事 業 名	特別支援教育総合推進事業の取組 (早期からの教育相談・支援体制構築事業の取組)		担当係	学校教育係	
事業の目的	障がいのある児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うために、その体制の整備を総合的に推進する。				
事 業 内 容	・市内の巡回相談対象児童・生徒に対し、臨床心理士・言語聴覚士等による具体的な教育支援・心理支援の方法を、特別支援教育担当指導主事・筑城特別支援学校の教員による学習支援の方法等を示唆してもらうことで、一人一人の障がいの状態や特性に応じたきめ細かな指導を図る。				
平成27年度 実施状況	・巡回相談が必要な学校は積極的に申請し、臨床心理士・言語聴覚士・作業療法士・特別支援学校教員等による巡回相談を実施した。 ・実施校においては、特に支援を要する児童・生徒の実態把握や具体的な支援方法等について学ぶだけでなく、保護者を含めた相談会を実施したり、支援体制を見直したりした。				
成果・課題	・特別な支援を必要とする児童・生徒は年々増加傾向にあり、ニーズが高くなっていることから、迅速かつ的確な対応を求められるが、各学校にも周知が図れたため、十分な対応ができた。 ・研修会等で教職員の意識が変わってきていること、各学校での体制が整っていることから、相談につなぐ件数が確実に増えている。 ・県委託により「早期からの教育相談支援体制・構築事業」を一昨年度より実施しており、幼稚園・保育園等への支援も行っているため、今後も事業の成果・課題をもとに充実を図っていく。				
評 値	A	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・子ども一人一人の相談に保護者を巻き込み、また、学校全体の指導の工夫と指導体制づくりに生かしていくことが大切である。 ・年度当初に各学校長と特別支援教育担当者にこの事業についての周知を図ることで、回数だけでなく相談活動の内容の充実を図る必要がある。
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	2	事務事業	4
施 策 名	楽しく充実した学校				
事 業 名	学力向上に向けた取組		担当係	学校教育係	
事業の目的	学習指導要領の趣旨に則り、教育課程の適正な管理に取り組み、児童・生徒に学習の量と質を保障する。				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の学力調査実施する。</li> <li>・市教育委員会指定の研究発表会を開催する。</li> <li>・学力向上に特化した研修会を実施する。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の学力実態を多面的に把握し、各学校の指導方法の見直し・改善に生かすために、国・県レベルの学力テストに加えて、市独自の予算で標準学力検査も継続実施した。(中学校：4月、小学校：12月、)</li> <li>・教育委員会の研究指定校制度(指定期間は2ヶ年で毎年小学校2校、隔年中学校1校が発表会をするようにローテーションを組んでいる)を実施し、校内研究を計画的・継続的に推進し、研究成果を市全体に公開することで、児童・生徒が基礎・基本を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力を育み、確かな学力の育成に取り組んだ。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の結果、本市小学校は国語Aをのぞいてすべて全国平均を下回る正答率ではあったが、すべて有意差の範囲内であった。また、中学校においては、数学B以外はすべて全国を下回る正答率であったが、すべてー3ポイント以内にとどまっていた。</li> <li>・平成27年度の研究指定校の発表内容は、八屋小学校と千束中学校における「道徳の実践交流会」(県指定)、合岩小・中学校における「小中連携で取り組む学力向上推進」(県の重点課題)であった。3校においては、授業を公開し、豊前市ののみならず京築管内小・中学校に向けて成果を発表・交流した。</li> <li>・年2回の学力向上推進会議を計画的に実施し、市の状況を示すとともに各学校の効果の上がった取組を交流した。</li> </ul>				
成 果 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力調査の結果を各学校において分析し、児童・生徒の実態に応じた独自の取組が推進されている。</li> <li>・全国学力・学習状況調査での正答率が年々上昇している。(特に中学校は京築地区の他の地区に比べて上昇傾向にある)</li> <li>・学校間格差は否めないが、豊前市全体としての取組の推進を図り、ボトムアップをしていくことが必要である。</li> </ul>				
評 価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校において、市費で実施している標準学力調査の結果を全国学力・学習状況調査等に有効活用するための研修会の充実を図る。</li> <li>・研究指定校制度については、各学校の実態に合った教科等にするとともに学校に持ち帰り、日々の実践に生かせるようにする。</li> <li>・学力向上推進会議への参加体制の見直しと持ち帰った実践の有効活用の方法を具体的に示す必要がある。</li> </ul>				

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	2	事務事業	5
施 策 名	楽しく充実した学校				
事 業 名	放課後支援事業（ぶぜん学び道場 寺子屋）		担当係	学校教育係	
事業の目的	落ち着いた環境で自主的・主体的に学習に取り組み、家庭における規則正しい生活習慣づくりの取組の基礎となる、子どもの学習習慣の定着を図る。				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として小学校4年生、5年生を対象とし、平日の放課後 週1回1時間程度、自主的に学習できる環境を整備し、教員OB等がコーディネーターとなり指導するほか、地域の方々による学習支援員が学習の援助や学習習慣の指導を行う。</li> <li>・児童は宿題や教科書の復習や教育委員会が作成したプリントを行い、基本を確実に身につけ、自ら学び考える力を育み、自学の定着による学力の向上を目指す。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校10校にて実施。</li> <li>参加児童数 113名</li> <li>学習支援員 25名</li> <li>・学期を重ねるごとに宿題、問題プリントなど集中して取組み、自主学習の基礎づくりができた。</li> <li>・学習だけでなく「寺子屋訓」を復習することにより、挨拶を自主的にするようになり、規律の向上にもつながった。</li> </ul>				
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター、学習支援員不足に合わせ参加児童数が少ないため、広報、チラシ、市ホームページなど各種媒体を活用し啓発を行う必要がある。</li> <li>・寺子屋を公民館などで実施している小学校では、欠席児童の連絡、下校時の変更など学校との連絡・調整が不十分であり、教員等と連携体制の強化を図る必要がある。</li> <li>・学校によっては1年生など低学年が参加しており、長時間学習するのが困難なため、学習内容を配慮する必要がある。</li> </ul>				
評 価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	寺子屋の趣旨、内容を地域の方々に幅広く周知し、参加児童の増加を促し、自主学習の定着による学力の向上を図るとともに、地域からの学習支援員の募集を行い、児童と地域の方々との触れあいの場として寄与する。
-------	--

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	2	事務事業	6		
小区分	楽しく充実した学校						
事業名	心の問題への対応		担当係	学校教育係			
事業の目的	様々な事例に対応できるように、相談窓口の多様化・充実を図る。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いじめ」や「不登校」などの諸問題に対して、学校の組織的・計画的な取組強化及び家庭や地域社会と一体となった取組の充実を図る。</li> <li>・ 適応指導教室を継続し、充実・促進を図る。</li> <li>・ 相談窓口として教育相談室にカウンセラーを配置する。(7日／月)</li> <li>・ 県費による各中学校へのスクールカウンセラーを配置する。</li> </ul>						
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセラーと各学校教職員との連携による「いじめ」や「不登校」等への対応の徹底と豊かな人間性を育む教育活動の推進が図られている。</li> <li>・ 教育相談室では、子育てや子どもの発達状態等で不安を抱える保護者をはじめ、指導に悩む教職員がとぎれることなくカウンセリングを受けている。相談件数は年間1318件(来所: 425件、電話: 100件)であった。また、教職員・保護者を対象に教育講座を年2回開設し、子育てや児童・生徒支援に役立つカウンセリングの手法等について研修会を実施した。</li> <li>・ 不登校児童・生徒の居場所及び学校への復帰準備の場として、適応指導教室が貴重な受け皿となっている。</li> </ul>						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談の申し込みが多く、順番がなかなか来ない状況にあり、相談日を増やす等の対応が必要である。</li> </ul>						
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下		

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセラーへの相談の申し込みが困難な状況にあるとともに学校現場からの派遣要請が多く、さらに、相談日を増やす等の対応に努める。</li> <li>・ スクールソーシャルワーカーの積極的配置検討を含め、積極的・組織的な教育相談の推進を図る。</li> </ul>
-------	---

## 【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	7
-----	---	------	---

小区分	楽しく充実した学校				
事業名	指導体制（環境面）の充実	担当係	教育総務係		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する学校教育について、子どもの「生きる力」を育み楽しく充実した教育を推進する。個性や価値観を尊重し、お互いを認め合う心や社会の変化に的確にかつ柔軟に対応できる力など、人間性豊かでたくましい子どもたちを育成するために学校の教育環境を充実させる。</li> </ul>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活において支援が必要な児童・生徒の適切な就学補助活動を行う。</li> <li>ICT教育では、設備の充実とサポート体制の確立、及び教職員へのICT教育の授業への積極的な活用の推進を行う。</li> <li>小・中学校に英語教育助手を配置し、英語に慣れ親しめる環境を整える。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な児童・生徒には、学校生活に支障がないように配慮して、24名の生活支援員を配置した。これは昨年度より8名の増員となっており、要望は年々増えている。</li> <li>ICT教育は、全小・中学校にPC教室を設置している。角田中・合岩中では機器の入替を行ったが、可能な範囲内で学校の要望に対応した。ICTサポートを派遣し、指導者の育成と、授業への活用を促す環境を整えた。</li> <li>英語教育は、合岩小に市雇用の常勤英語講師を専属で配置し、その他の9小学校には2名の非常勤講師を派遣している。中学校には1名の外国语指導助手（ALT）を配置している。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低・中学年から英語に慣れ親しみ、楽しさを実感させ、高学年から中学校へのスムーズな移行ができる教育体制がつくられている。</li> <li>ICT教育に関しては、積極的に授業に活用しようとする学校（教員）が、ようやく出始めてきている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器のコストは高額であるが、それに見合う活用をより多くの教員が積極的に行い、ICT授業にも率先して取り組めるよう、研修の実施やサポート体制を整えるなどの支援が必要である。</li> <li>学校では多様な支援を必要とする児童・生徒が年々増加している。支援員の人材確保と予算確保が毎年の課題である。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援員は、各学校の意向を充分に確認し、適切な配置を行う。限られた予算と人員で、効率的な運用ができるよう工夫する。</li> <li>ICT教育では、教員各自がICTを活用した授業に積極的に取り組むよう促す。</li> </ul>
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	8		
小区分	楽しく充実した学校				
事業名	効率化・安全性を考慮した学校給食	担当係	学校教育係		
事業の目的	おいしく栄養面を考慮した献立を作成する。				
事業内容	効率的な学校給食運営及び地産地消を進める。				
平成 27 年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産米を完全使用し、平成 21 年度から米飯を週 4 回実施する。</li> <li>・地場産食材活用推進協議会（農林水産課・小・中学校長代表・学校栄養職員・調理員・JA 等で構成）、献立委員会（学校、調理員等で構成）を年 3 回設け意見・情報交換を行ない、地場産食材の学校給食への利用推進を図っている。</li> <li>・毎月、地場食材の日は旬の地場野菜を取り入れている。</li> <li>・全ての食物アレルギー対象児童・生徒に対応食を実施する。</li> <li>・平成 28 年度より中学校 3 校の民間委託に向けたプロポーザルの実施や、学校との協議及び保護者への説明会を実施し周知を図った。</li> </ul>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのため除去食対応の児童・生徒が増加傾向にあり、個々に対応した給食の提供をするための人員が必要である。</li> <li>・定年退職等により給食調理員が減少し、補充も無いことから、平成 28 年度より中学校 3 校の民間委託を実施するが、そのための準備や調整（調理員への衛生管理・技術指導、書類の作成等）する期間が十分に取れなかった。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	今後、給食調理員等と十分協議を重ね、学校給食の民営化を推進し、具体的な学校給食の運営見直しの検討を進めていく。
-------	---

## 社会教育

### 3 社会教育推進体制

社会教育体制の確立は、長期的視野に立った取組が必要であることから、社会教育主事の育成を推進します。

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	3	事務事業	1		
小区分	社会教育推進体制				
事業名	社会教育主事の活用と育成	担当係	生涯学習係		
事業の目的	・社会教育事業推進のため専門知識を有する人材を育成しその推進に努める。				
事業内容	文部科学省が実施する社会教育主事講習の受講を検討する。				
平成27年度 実施状況	・社会教育主事の育成を推進している。 ・平成23年度社会教育主事講習を受講した社会教育主事が、そのスキルを活かし後任者育成に取り組んだ。				
成果・課題	成果 ・社会教育主事の人脈や各団体へのパイプを活用し、社会教育全般に反映するよう後任者に教示 came.				
	課題 ・社会教育全体の範囲が広いので狙いや取り組みに偏りがある。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・さまざまな世代や地域、社会に対応するような社会教育を目指したい。
-------	-----------------------------------

#### 4 青少年教育

体験学習事業、子どもセンターの開設、子ども会育成活動への支援を行っています。

##### 【点検・評価シート 社会教育】

小区分	4	事務事業	1		
小区分	青少年教育				
事業名	体験学習の推進				
事業の目的	自然体験活動を通して子ども達の生きる力を育む。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学合宿やぶぜん自然体験塾での体験活動を通して、豊かな人間性や生きる力を身に付けさせる。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学合宿については各校区の代表者で構成する通学合宿実行委員会の会議を重ねて、本来の通学合宿の意義とねらいが一定の方向に向くよう情報と手法を共有し、各校区の全10小学校区のうち8小学校区で実施した。</li> <li>・野外体験活動に参加した児童が豊前市ジュニアリーダークラブに関心を示し入部希望者が多数あった。</li> <li>・ぶぜん自然体験塾事業については、豊前市子ども夢応援事業補助金70千円を活用した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習の必要性と活用、大人・子ども・地域のつながりによる自己肯定感の育成が図れた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によって活動に対する温度差や偏りがある。</li> </ul>				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	・内容を深めさらに多くの市民にプログラムや取り組みを広めたい。
-------	---------------------------------

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	4	事務事業	2		
小区分	青少年教育				
事業名	学社融合の推進	担当係	生涯学習係		
事業の目的	学校教育と社会教育の融合により、子ども達へ質の高い学習を提供する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間や地域の人材を生かして、学校での書道ボランティアを派遣する。</li> </ul>				
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>書道教室に受講者として通い、一定以上の書道力を会得した市内外の中高齢者が講師となり、無償ボランティアという形で市内8小学校の書道の授業に入り、豊かな経験を生かした授業の補助を行っている。</li> </ul>				
成果・課題	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育、生涯学習で培ったスキルを学校教育の現場に生かす正に学社融合が実践できている。</li> </ul> <p>年配の方が多数を占めるボランティアスタッフが子どもと触れ合うことで良い刺激を受け、豊かで生き生きした日々を過ごし、生涯現役の一環となっている。</p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校へのボランティア派遣は、受け入れ側とボランティアの意思疎通が大切である。受け入れ側の理解が必須条件となりコーディネーター役が必要となる。コーディネーター役としては受け入れ側とボランティアの意思疎通のみならず、ボランティア同士の情報共有を図る上でのコーディネートが必要である。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーターの育成、ボランティアの新規加入者の開拓が必要である。</li> </ul>
-------	--

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	4	事務事業	3
小区分	青少年教育				
事業名	地域との連携			担当係	生涯学習係
事業の目的	家庭教育の向上、地域教育力の活用を目指す。				
事業内容	・家庭教育推進協議会を設置し、学校との連携で家庭教育講座を実施する。 また、青少年育成市民会議との共催で子育て中のママ・パパのためのコミュニケーションセミナーを4回実施する。				
平成27年度 実施状況	・入学準備会時に市内小学校10校で、基本的しつけ、子どもに示す親の姿、早寝早起き朝ごはん等、家庭教育の大切さを伝えた。 ・コミュニケーションセミナーでは、乳幼児の子育て世代の方々を募集し、子育てという同じ境遇の参加者の新しい出会いとふれあい、コミュニケーションのグループワークを通じ、悩みや喜びを共有していただく一助となった。アンケート結果では大変好評で、再度セミナーを開いて欲しいという要望が多かった。				
成果・課題	成果 ・コミュニケーションセミナーを通して参加者の出会いと縁の広がりがみられ、セミナー終了後も交流が続いている。 又、地域の様々な講師とパイプが繋がり、ベビーマッサージ教室等多様なプログラムが開催されるようになった。 課題 ・事業を継続するために参加申し込み者数の安定が必要となる。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・出産・子育て世代に周知、広報を強化したい。
-------	------------------------

## 5 社会人への支援

男女共同参画拠点施設としてのハートピアぶぜん、勤労青少年ホームでの勤労者学習支援事業による学習支援などを行っている。

また、地域住民が自らの知識や経験を活かし、地域課題の解決に関わっていくきっかけとなる先導的な学習機会を提供することで、住民が主体的、自発的に地域に関わっていく人材育成を目指し、ぶぜん地域活動スタートアップ講座を開催する。

【点検・評価シート　社会教育】

	小区分	5	事務事業	1	
施策名	社会人への支援				
事業名	学習機会の提供		担当係	生涯学習係	
事業の目的	市民のニーズに合わせた社会人への学習機会の提供する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートピアぶぜん、勤労青少年ホームなどの講座の実施する。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「男女がともに輝くまちぶぜん」を実現するために教養を高め、余暇を利用して健康維持、教養、クラフト、クッキング、実用講座など幅広い講座を実施した。ハートピアぶぜんで、11講座、勤労青少年ホームで13講座を実施。その他特別講座なども実施した。</li> <li>又、男女共同参画拠点施設としての啓発事業を実施した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の受講者が様々な講座を受講し、目標に向かい教養やスキルを深め、受講者同士の交流を通して、生き生きとした日々を過ごす一助となっている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に様々な趣味、教養、健康講座の可能性を模索し多方面にアンテナを張り、新たな講座の開拓を実践して市民のニーズに応えたい。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	・様々な価値観、ニーズに対応するような講座、講師の開拓を図る。
-------	---------------------------------

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	2
施 策 名	社会人への支援				
事 業 名	地域の課題解決に向けた人材育成		担当係	生涯学習係	
事業の目的	地域住民が自らの知識や経験を活かし、地域課題の解決に関わっていくきっかけとなる先導的な学習機会を提供することで、住民が主体的、自発的に地域に関わっていく人材育成を目指す。				
事 業 内 容	・参加者を公募し講師を招き、座学形式で計7回の講座を実施する。				
平成27年度 実施状況	・県補助によるスタートアップ講座を重ね、以下の活動が始まった。 ・陽だまりの家 多世代の方々が集まり、楽しく過ごせる場「陽だまりの家」を提供している。毎月第3火曜日に開催し、参加者も増えている。 ・[にじいろキッズクラブ] 発達障がいの子どもやその親達の交流の場をつくる。療育の必要性や、誰に相談してよいか分からず、二次障害を起こす子どもや、ストレスから体調や人間関係を壊す親達の負担を減らすことを目的としている。 ・[高齢者支援] 認知症に関する不安や悩みの軽減を目的とし、認知症カフェを将来的に開催するため見学や体験、講習を受けた。 ・[豊前歴史未来研究会] 観光客の増加や地域発展を目指していく活動のベースづくりとして、豊前の歴史や価値を調査した。それをビデオ動画に反映し、多くの方にアピールしている。 ・[知恵の継承・学びの場] 昔ながらの生活の知恵を伝承するため、かまどでのご飯炊き等の遊び、衣・食・住をテーマにしたワークショップなどイベントを行い交流の場を提供している。				
成 果・課 題	成果 ・色々な分野で悩みをかかえる方々の不安やストレス軽減をはかる場の提供をすることで、参加者の方々が生きる希望を見いだし、多世代交流による絆の輪が広がった。また、豊前市の魅力や価値をみつける機会が出来、今後、尚一層の活動が期待できる。 課題 ・各グループ今後の活動が途切れることがないよう、豊前市がバックアップ出来るように予算的にも考えなければいけない。				
評 価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	・県補助金が無くなる次年度も市単独予算にて講座を開催し、既存のグループのフォローアップ、新規参加者への門戸を開きたい。				

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	5	事務事業	3		
小 分 類	社会人への支援				
事 業 名	各種団体への支援	担当係	生涯学習係		
事業の目的	社会教育団体との連携を通じて社会教育事業の推進を図る。				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会連合会、ジュニアリーダークラブ、青少年育成市民会議、PTA連合会、ボーイスカウトなど各社会教育団体への支援を行う。</li> <li>・子ども夢応援事業を実施する。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会連合会では、指導者の育成のための研修会やカルタ大会等を実施した。</li> <li>・ジュニアリーダークラブでは、24時間テレビ募金活動等を実施した。</li> <li>・青少年育成市民会議では各支部への支援や、花いっぱい運動等を実施した。</li> <li>・PTA連合会では、研修、大会等の活動を実施した。</li> <li>・ボーイスカウトでは、野外活動訓練や各種ボランティアなどに取り組んだ。</li> <li>・子ども夢応援事業による各地域の異世代交流、夏休み子どもの居場所、通学合宿等を実施した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体で健全で有意義な活動が実施できている。</li> <li>近隣市町に比べ、各種団体の活動は活発である。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容のマンネリ化による活動の停滞を活性化させる必要がある。</li> </ul>				
評 価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・地域による活動の差を是正するような啓発広報に努めたい。
-------	------------------------------

## 6 公民館運営

異世代間交流の促進や地域コミュニティー、情報発信基地としての見直しを行い幅広い業務の展開を目指し、施設の機能強化を図ります。

### 【点検・評価シート 社会教育】

小区分	公民館運営	小区分	6	事務事業	1
事業名	地域情報発信事業	担当係		生涯学習係	
事業の目的	情報発信基地としての機能強化を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイレクトな地域情報の発信拠点として、公民館施設を活用する。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年に「豊前市生涯学習推進基本計画」の策定を行い、平成23年度生涯学習推進協議会を立ち上げた。公民館の活性化について協議し、地域づくりの拠点として、地域活性化事業を進めている。</li> <li>・公民館の活性化については、特に予算化はしていない。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの公民館が地域のコミュニティーの場となり、子どもから高齢者までが地域活動の中心となり機能している。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先々では、市内12の公民館については、コミュニティーセンターとして一部指定管理も選択肢に含め、検討する。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティーセンターの概念を周知し、希望施設があれば、センター化を進めたい。</li> </ul>
-------	--

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	6	事務事業	2		
小区分	公民館運営				
事業名	施設の機能強化	担当係	生涯学習係		
事業の目的	地域の拠点施設としてコミュニティーを含めた施設運営を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館を地域の活動拠点として活性化するため、社会教育施設としてだけではなく、福祉、子育て、防災などに対応できる施設として整備する。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八屋公民館の不用倉庫を解体し、入場者の出入り動線の確保と安全化を図った。 八屋公民館倉庫解体工事 (810千円)</li> <li>・千束公民館において砂利敷きとなっていた第二駐車場にアスファルト舗装及び白線引きを施し駐車場機能の快適性、効率性安全性の向上を図った。 千束公民館駐車場舗装工事 (1,659千円)</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在ある施設の効率化安全化が図れた。</li> <li>・今後、社会的背景や利用者の要望をくみ取り対応したい。</li> </ul>				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の老朽化にともなう改修、及び中央、宇島、千束の各公民館について耐震診断を行う。</li> </ul>
-------	---

## スポーツ・レクリエーション

### 7 地域スポーツの振興

スポーツ人口の底辺拡大、競技スポーツにおける一貫した指導体制の確立などを目指します。

#### 【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

小区分	7	事務事業	1		
小区分	地域スポーツの振興				
事業名	総合型地域スポーツクラブ事業	担当係	スポーツ振興係		
事業の目的	地域での生涯スポーツ活動の推進を行う。				
事業内容	・総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、教室は12種目17教室、会員数約300名。</li> <li>総合型地域スポーツクラブ活動支援事業補助金（1,000千円）を助成した。</li> </ul>				
成果・課題	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぶぜんピープルズにおいては、「ジュニアから高齢者までを網羅した生涯スポーツの一角を担っている。運営委員会を4回開催し、指導者間の情報交換を行っている。また、事務局会議を数回開いて問題解決を図った。</li> <li>NPO団体による総合型地域スポーツクラブ「よろうや」が、健康と介護予防等を目的に設立された。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独立運営を目指すには活躍できる人材が圧倒的に不足し、さらに会員数の増減にも波があり、収入面で安定していない。このため、「ぶぜんピープルズ祭」で、広報活動の充実による新規会員の獲得、独自の新規事業などによる自主財源の確保など、財政面での充実が必要である。</li> <li>設立された新しい団体については、財政支援が今後必要となる。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度スポーツ基本法が制定され「スポーツ権（スポーツをする権利）」が、明文化された。これにより、総合型地域スポーツクラブが担う役割もさらに大きなものとなった。併せて障がい者スポーツにも取り組む方向性も打ち出された。また、介護予防等に取組む団体も設立されたため、健康長寿推進課、福祉課、社会福祉協議会や各障がい者団体との連携を深めていきたい。</li> </ul>				

## 8 レクリエーションスポーツの普及

スポーツ推進委員など指導者の育成と組織化を進めています。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

小区分	8	事務事業	1
小区分	レクリエーションスポーツの普及		
事業名	指導者の育成	担当係	スポーツ振興係
事業の目的	高齢化社会に対し、生涯スポーツの普及を通して地域住民の健康増進を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の研修会を通じて、指導者の育成と、総合型地域スポーツクラブの事業実施に伴う指導者の開拓を行う。</li> </ul>		
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の京築地区研修会に参加し、身近な種目の技術の向上に努めた。</li> <li>・ニュースポーツ祭などでレクリエーションスポーツの普及を行った。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な競技種目間で情報交換を行い、指導者間の連携が図られている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手指導者の掘り起しが、必要である。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、各種スポーツクラブなど既存の指導者の研修を行い指導者の育成及び技術的な向上を図る。</li> </ul>
-------	--

## 9 施設の整備

公園型スポーツ広場などの整備を目指します。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

小区分	9	事務事業	1
小区分	施設の整備		
事業名	体育施設の整備	担当係	スポーツ 振興係
事業の目的	市民スポーツ推進のため、必要な施設の整備を行う。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の整備をする</li> </ul>		
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球場の照明関係を重点的に修繕した。</li> <li>・能徳運動広場では、防犯灯のLED化（222千円）や、夜間照明安定器と殺虫器等（1,646千円）を更新した。</li> <li>・武道館のAED（320千円）を更新した。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具の塩害等で傷みの進んだものを交換することで、安定利用ができるようになった。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民プールをはじめ、野球場、武道館、弓道場、能徳運動広場など経年劣化による老朽化が目立っている。</li> <li>・施設面積が大きいので、改修に費用が掛かる。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設とも計画的な整備が必要である。</li> </ul>
-------	---

## 生涯学習

### 10 生涯学習体制

職員に対し意識の徹底を図り、市民への情報提供を行います。

#### 【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	10	事務事業	1
小区分	生涯学習体制		
事業名	豊前市生涯学習推進計画		担当係 生涯学習係
事業の目的	地域の課題解決のため、「学習プログラムの構築、生涯スポーツの推進、公民館の活性化、地域の力を活かす」を重点目標に事業を実施する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年に生涯学習基本計画の策定を行い、「豊前市生涯学習推進基本計画」に沿って豊前市生涯学習プログラムを市内全戸配布、生涯学習推進協議会を立ち上げ具体的な事業実施について協議を行い、併せて計画概要版を関係施設に配布し、その周知に努めた。</li> </ul>		
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館について新たな運用体制を検討すべく、公民館運営審議会へ説明協議を実施した。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各公民館で地域力や課題に特色があり、今後の運用体制の構築に向けて参考となった。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、地域活性化に向けた具体的取組みを行うべく地元と協議したい。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上      B 期待どおり      C やや下回る      D 期待以下	
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降の事業の内容を精査検討して、実りが期待できるビジョンを構築したい。</li> </ul>		

### 1.1 情報の一元化

情報を一元化し、生涯学習としての活動の場、交流の場を確保します。

#### 【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	11	事務事業	1		
小区分	情報の一元化				
事業名	生涯学習プログラムの構築	担当係	生涯学習係		
事業の目的	生涯学習の推進を図る上で、全庁内でのイベント、施策などの情報を一元化。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進幹事会を構成し、各課からの情報提供を受けそのデータベース化を図る。</li> </ul>				
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページ及びパンフレットを作成し、生涯学習情報として公開した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットにより、イベント施策などの理解が容易となり、広く浸透できた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの存在の周知。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う。
-------	-----------------------------------

## 1.2 出前講座

市役所職員による実施を可能とするため、十分な職員研修が必要であり、職員の資質の向上が必要です。

### 【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	12	事務事業	1		
小区分	出前講座				
事業名	市役所職員による出前講座の実践	担当課	生涯学習係		
事業の目的	行政施策、行政情報を学習プログラムとして構築する。				
事業内容	・行政サービスの内容を学習メニューとして構築し、公民館などの学習会等で必要に応じて提供する。パンフレットでも紹介する。				
平成27年度 実施状況	・健康増進や、消費生活について各課で実施された。 ・出前歴史講座なども実施された。				
成果・課題	・各課での工夫とPRが、必要である。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	・今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う。
-------	-----------------------------------

【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	小区分	1 2	事務事業	2	
小区分	出前講座				
事業名	ボランティアの派遣		担当係	生涯学習係	
事業の目的	「知の循環」としてボランティアの活用を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道ボランティアや「はつらつ活動拠点事業」のボランティアを学校等に派遣する。放課後児童クラブへの派遣も行っている。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道ボランティアは小学校8校で実施した。</li> </ul>				
成果・課題	派遣分野の拡大を図るため、ボランティアセンターの機能強化が必要である。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う。</li> </ul>
-------	---

## 文化財の保護と活用

### 1.3 文化財の整備と活用

文化財を活用した教育普及活動は最も重要な施策で、求菩提資料館や各種講演会、学校への出前歴史授業、出版物での紹介などを行っています。

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	13	事務事業	1
小区分	文化財の整備と活用		
事業名	国史跡「求菩提山」の整備	担当係	文化芸術係
事業の目的	国史跡の活用を行うため、主要な参道の整備（ルート整備）を実施し、見学者の安全と利便性を図る。整備を進めるため国史跡指定地の公有化を進め、また、求菩提地区の重要文化的景観「求菩提の農村景観」の保護推進を実施する。		
事業内容	・国史跡「求菩提山」ルート整備等を行う。		
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史跡整備事業ではルート整備の一環として「五窟の道」修復工事の3年次（最終年）を実施した。</li> <li>・史跡の土地公有化については、アクセス道路となる県道及び市道に接する土地（7筆 57,407 m<sup>2</sup>）を取得した。</li> <li>・文化的景観保護推進事業では、産家地区の農業用水路（L=410m）について景観へ配慮した仕様での改修工事を行った。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五窟ルート整備を実施したことで、来訪者の安全性が確保された。</li> <li>・産家地区水路の水漏れが収まり、景観が健全化された。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を要し長期にわたる事業であり、分野毎にも専任の担当者が必要である。岩屋坊・瀧藏坊など建造物の傷みが目立つようになってきたため、これらの修理・整備が必要である。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡では今までルート整備を中心にしてきたが、今後数年間は岩屋坊・瀧藏坊など建造物の修理・整備に取組む予定である。</li> <li>・文化的景観保護推進事業については、地元の要望に沿って修復が必要な水路などの修理といったハード事業を行っているが、今後は景観要素の活用をすすめるため、有効なソフト事業の立案・実施を検討していく必要がある。</li> </ul>		

#### 14 文化財の公開

市内中心部に展示施設を併設した施設を整備し、さまざまな情報の提供を行います。

##### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	14	事務事業	1		
小区分	文化財の整備と活用				
事業名	教育普及活動の推進と施設の整備活用	担当係	文化芸術係		
事業の目的	施設を利用して調査収集した文化財資料を一般に公開することにより地域の歴史に対する理解を深め、ひいては文化財愛護精神の高揚並びに、地域文化の再認識につなげる。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求菩提資料館の常設展での修驗道文化の紹介や企画展を開催する。</li> <li>・埋蔵文化財センターでの出前歴史教室または校外学習受け入れ等により埋蔵文化財を通じて地域の歴史の理解を促す。</li> <li>・埋蔵文化財センターを校外学習や学童保育、職場体験学習の場として活用する。</li> </ul>				
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求菩提資料館では、市民歴史講座を4回、ふるさと写真コンクール入選作品展、ミニ企画展などを開催した。</li> <li>・出前歴史講座は小学校2校、小学校のセンター見学は2校受け入れた。</li> <li>・埋蔵文化財センターでは、第3回企画展『古のムラ 小石原泉遺跡展』とそれに併せた講演会3回、スポット展示『戦後70年 飛行機に魅せられて…』、夏休み体験講座3回を実施した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求菩提資料館は年間入館者12,971人（前年度13,232人）で、減少の一因は、開館日数が天候不良等により、26年度より3日少なかったこと等が考えられる。</li> <li>・埋蔵文化財センターの年間入館者数2,412人（前年度同時期入館者数2,339人、73人増）である。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館については以前から設備の老朽化と、天候に左右され易く駐車スペースにも乏しい立地が問題といえる。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の保存・展示については、求菩提資料館と文化施設が連携し、施設相互に見学者の流れが出来ることを目標にする。</li> <li>・求菩提資料館の老朽化等の問題については、県施設であることから今後の事について県担当課と協議していく。</li> <li>・埋蔵文化財センターは今後も企画展・講座等で活用を促す必要がある。</li> </ul>				

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	14	事務事業	2		
小区分	文化財の公開				
事業名	各種情報の発信	担当係	文化芸術係		
事業の目的	豊前市内の文化財の情報を、インターネットや冊子資料を通して外部へ発信し、全国に豊前市を PR する。また豊前市のイメージ作りと、観光客への情報提供の手段とする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページを活用し、民俗芸能情報や指定文化財の紹介をインターネットで配信するほか、紙媒体（ガイドブック等）についても活用する。</li> </ul>				
平成 27 年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページに当年度の神楽奉納日程情報などの民俗芸能情報や指定文化財の紹介を掲載。多目的文化交流センターでの豊前市、京築地域の民俗芸能に関する展示や、映像資料の閲覧を実施している。</li> <li>・求菩提山の山頂に標高と国指定史跡を表示する標柱を設置した。また、豊前神楽が国指定となったことを広報する懸垂幕を作成掲示した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽奉納・公演等に市外からの問合せや来訪者が増加している模様。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽奉納個所についての問合せへの回答に苦慮する事例が多いため、分かり易い神楽地図の作成が必要である。</li> <li>・使用可能な媒体全ての活用を図る。</li> <li>・文化財の周知については、今後も指定物件に変動が予想されるため、その都度情報更新が必要である。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽の奉納日程・奉納場所アクセス情報などの問い合わせが例年多く、より詳細な内容が求められているため、特に需要の多い項目の周知化に重点をおきたい。</li> </ul>				

## 15 無形民俗文化財の伝承

新たな体制整備を行い、支援体制の確立を目指します。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	15	事務事業	1		
小区分	無形民俗文化財の伝承				
事業名	関係団体の組織化と伝承事業の展開	担当係	文化芸術係		
事業の目的	伝承団体相互の連携を強め、また伝統芸能の伝承を通じて地域コミュニティの構築に寄与し、地域の伝統文化の継承の一助とする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前岩戸神楽保存会などの運営を行う。</li> <li>・様々な助成事業などを通じ伝承事業の支援を行う。具体的には事前に保存団体の状況を把握し、市の助成金制度や他団体の制度を紹介しながら、必要な支援を行う。</li> </ul>				
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会例会において各神楽講で情報交換し、民俗芸能調査の依頼や京築アメニティ関連イベントなどの出演依頼に関する業務を円滑に行う。</li> <li>・伝統芸能団体の広報関連業務や装束・道具類の作成・修理などを助成対象とする。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能の豊前市外への情報発信をすることができた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽以外の民俗芸能については実施期間や場所が限定されるものもあり団体毎に相違があるため現在は個々の団体に対応する状態である。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽以外の民俗芸能についての助成を進める必要がある。</li> <li>・事業の継続、保存団体に対する年間の補助及び保存団体または所有者が行う保護事業などでの補助基準の整備。</li> </ul>				

## 16 人材の育成

ガイドボランティアについて更なる充実を求め、外部からの来訪者に対して均質的なサービスの提供を目指します。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	16	事務事業	1		
小区分	人材の育成				
事業名	ガイドボランティアの支援		担当係 文化芸術係		
事業の目的	官民協働を推進し、地域の人材を活用して活性化を図る。				
事業内容	求菩提資料館を拠点として、史跡を紹介するガイドボランティアの支援をする。				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般見学者向け又は学校の校外学習等での史跡ガイド要請への対応の他、求菩提資料館の企画展やミニ企画展時の展示替え、館内巡回その他イベント・研修に参加したり岩屋坊の清掃活動さらに月例会の際に、スキルアップのための養成講座を実施した。</li> <li>埋蔵文化財センターの活用促進とメンバーのスキルアップを兼ねて、土日祝日の管理・案内をガイドボランティアの会に委託している。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガイド実施件数 18 件、案内人数計 216 名（前年度計 24 件、322 名）</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーの高齢化問題は依然あり、新たな人材の確保と育成が急務。養成講座を続けているが参加メンバーは固定化していて新規メンバーの定着が少ない。</li> <li>ボランティアガイドには森林セラピー事業や、文化財に限らない観光面での需要もあり、従来の文化財ガイド業務の水準を保ちつつ活用の場を広げるために、実働可能なメンバーの確保が急がれる。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規メンバーの募集を進める。</li> <li>求菩提資料館以外にも埋蔵文化財センター、多目的文化交流センターという文化財展示設備を有する文化施設を含めたプログラムの定着を図る。</li> </ul>				

## 芸術文化の振興

### 17 芸術活動の支援

文化施設の整備、活動環境の整備を行い、文化活動の推進を図り、参加による体験を通して芸術文化の振興を行います。

#### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

小区分	17	事務事業	1
小区分	芸術活動		
事業名	複合施設の活用、文化事業の実施、場の提供	担当係	文化芸術係
事業の目的	多目的文化交流センターの活用と、老朽化した市民会館の改善対策を行い、市民に上質な文化芸術のサービス提供を行う。心豊かな市民生活形成の一助とする。		
事業内容	・多目的文化交流センターを、市民会館と共に文化活動の拠点とする。		
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的文化交流センターは県民文化祭「ROCK THE CITY!!」、第13回豊前市美術展、京築地域の神楽定期公演等に活用した。</li> <li>・市民会館では子ども文化事業として、「井上あづみ&amp;ゆうゆファミリーコンサート」、夏休み子ども映画館・春休み子ども映画館、漆工芸教室を実施した。自主文化事業としては「東儀秀樹ソロコンサート」を開催した。</li> </ul>		
成果・課題	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的文化交流センタ一年間入場者数 29,243人（前年度 28,724人） 年間利用件数 3,696件（前年度 3,672件）であった。</li> <li>・市民会館年間利用件数 332件（前年度 397件）。市民会館も老朽化・施設の使い分けの影響か、利用数は減少傾向にあるが定着した利用者層も存在し、今年度も自主文化事業・子ども文化事業の映画上映会やコンサート、第41回文化協会文化祭の会場とした。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館はバリアフリー設備の不足と老朽化が問題で、現在は対症療法的な小規模修繕を重ねているが、このまま使用を続けるなら抜本的な改築が建て直しを要する。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	
今後の対応	・企画の内容に応じた使い分けは定着しつつある。		

## 18 読書活動

図書館の充実、学校図書館の支援、ボランティア活動の支援をしていきます。

### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

小区分	18	事務事業	1		
小区分	読書活動				
事業名	市立図書館の充実	担当係	文化芸術係		
事業の目的	市立図書館での図書サービスの充実を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館と移動図書館車の活用を行う。</li> </ul>				
平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館まつり、図書館講座、おはなし会、ブックスタート、企画展などを実施した。</li> <li>・平成20年度より図書館業務は指定管理者制度を導入。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数約12万人、貸出者数約3.38万人(前年度約3.48万人、比0.1ポイント減)、貸出冊数13万8千冊(前年度15万3千冊、比1.5ポイント減)。</li> <li>・会議室の利用数(使用料の生じた外部利用件数)24件(前年度17件)。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度より、指定管理者が交代するため、業務引継ぎの不備等でサービスの水準を下げないように気を付ける。</li> <li>・勤務時間の関係で来館できない労働者や交通手段をもたない高齢者等の利用促進を検討する。</li> <li>・市立図書館の今後の有効活用、事業展開、読書推進活動を行うボランティア団体等との関係構築などが課題となっている。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の方法、企画の充実、連絡体制などの充実が必要。</li> <li>・貸出図書のネット予約を可能にする。</li> <li>・サマータイム導入等で利用時間の拡大を検討する。</li> <li>・来館が困難な遠隔地の利用者を対象に最寄の公民館等で貸出・返却を可能にするサービスポイントの設置を行う。</li> </ul>
-------	--

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

小区分	18	事務事業	2		
小区分	読書活動				
事業名	学校図書館との連携	担当係	文化芸術係		
事業の目的	学校と市立図書館を連携させることで読書推進に寄与し、資料の共有活用に努める。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出の推進と、学校教育活動に対する資料提供を図る。</li> </ul>				
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の指定管理者制度導入後も団体貸出を継続している。その他の夏休み読書などの活動推進は現時点では係で担当している。</li> <li>・豊前市読書リーダー養成講座を市立図書館で実施した。参加数は市内10校の小学4~5年生20名であった。</li> <li>・豊前市子どもの読書活動充実事業（うちどくりー）を小学校2校で実施した。事業の概要と成果について市立図書館で展示を行った。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に実施した県主催の読書リーダー養成講座を26年度からは、市単独で豊前市小学生読書リーダー養成講座として発足させた。市内の小学校10校を対象に行ったアンケートの結果、「読書リーダー養成講座に参加したことでの効果があったか」とする設問では、すべての小学校が「効果あり」と回答している。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度より指定管理者が交代するので、サービスの維持・発展が課題である。</li> <li>・現在、移動図書館車協議会でステーションになっている施設の担当者と図書館との協議の場を年1回設けている。学校図書館司書の人員配置に伴い、学校司書と図書館の意見交換等の場も今後必要と考えられる。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書リーダー養成講座の継続化など、学校・市立図書館・各学校を拠点とする読書推進ボランティアの連携を図る取り組みを行う。</li> <li>・子どもの読書活動充実事業を27年度に実施した2校以外の8校で28~29年度にかけて実施する。</li> </ul>
-------	---

## 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、9年継続で点検・評価に取り組み、必要な改善が行われ、年々充実したものになってきている。今年度は、新規事業の実施等に伴い、点検・評価の必要性の検討がなされ、学校教育と社会教育とで、それぞれ一項目の事務事業が追加されている。

「学校教育」に関しては、9事業中A評価が2事業、B評価が7事業と全ての事業で全体としては期待どおりの評価がされているが、個別に見していくと、現状維持の状態が長年続いているものもあり、進展・解決に向けて早急な対応に努めていただきたい。主な課題としては、特別支援教育の推進、小規模校の複式学級の解消、学校施設の老朽化、学校間の学力格差、年々増加する教育相談、学校給食の運営のあり方及び地産地消の推進などがあげられる。

「社会教育」に関しては、9事業中A評価が3事業、B評価が6事業で「体験学習の推進」「施設の機能強化」(公民館運営)が昨年度に引き続き、新たに「地域の課題解決に向けた人材育成」が加わり、期待以上に評価されている。今後の更なる取組に期待したい。

「スポーツ・レクリエーション」に関しては、3事業いずれも期待どおりの評価がされている。子どもから高齢者まで、健康づくり等を目的とした生涯スポーツの推進や、子ども達に一流のアスリートの技術に触れる機会を提供するスポーツ活動の環境づくりが充実されている。今後は、昨年と同様に障がい者スポーツへも積極的に取り組んでほしい。関係の部署や団体との連携を深め、これからも継続した取組と施設の整備に向けて更なる努力を期待する。

「生涯学習」に関しては、豊前市生涯学習推進基本計画に沿って、地域の活性化を図り、ボランティア活動を促進させ、職員に対して生涯学習に対する意識の徹底等全局的な取組が必要である。

「文化財の保護と活用」に関しては、5事業いずれも期待通りの評価がされている。国史跡の「求菩提山」と国の重要文化的景観の「求菩提の農村景観」の保護推進、国指定無形民俗文化財として神楽の保護事業の継続が期待される。豊前市内の文化財等の周知については、インターネットや冊子資料を通じて、より詳細な内容の広報の周知に努められたい。

「芸術文化の振興」に関しては、3事業いずれも期待どおりの評価がされている。市民会館の老朽化に伴う施設維持の根本的な見直しが必要である。また、市立図書館については指定管理者により運営されているが、更なるサービスの向上が期待される。

平成27年度の全体の評価としては、概ね適正に実施され、各係において創意工夫された取組がなされている。教育委員会は、常に教育現場や地域の市民の視点から巡察し、現状把握と改善に努められたい。

平成28年11月21日

谷崎勝  
森重高志